

經濟學者のコレクションなど、金にあかせて集めたるもののみなりと高を括りたりしが、ドロッカーの、その内容を知りて一驚せり。日本人にても一般には敬遠されがちな室町の繪より蒐集を始めたりと聞きたるが故なり。

時間を割きて千葉市立美術館に赴く。そが二百點を越えたる掛軸の水墨畫を丹念に眺めて堪能、納得し心滿たされて歸りがけに奮發して目錄を購入せり。その頁をめくりて愕然とす。今見し寸前の繪とあまりにも違ひたる畫像をそこに見る。それより想ひ出させるは、昔田中一松先生の授業を受けたることなり。日本畫の泰斗たる先生の講義は坦々としたるものなれど、スライドによる畫像を相手のものなれば、繪の良さ、眞髓あまり傳はらず、こちらは水墨畫など固陋なる傳統墨守の藝術なりと身勝手なる斷定をして己む。會場にてドロッカー、よき先達は必要と田中一松先生の指導も受けての蒐集なりしことを知りて、嘗ての己れの愚かさ今更ながら慙愧の念起るとともに、スライドなり寫眞印刷なりの畫像にては、感動を受けることの難きに思ひいたる。白黒二色の繪なれば、墨の濃淡、滲み、紙質などの微妙なる色感、感觸は實物を前にせざれば傳はる能はず。今回出典の谷文晁「月夜白梅圖」に見らるゝ梅の幹、黒々と潤ひて掛軸の三分が二ほどを占め、雲に隠れたれどその今にも月の顔を出さんとする明かるさとの同時存在する力動的なる景は、寫眞にて表はしやうもなからむ。ドロッカー、晩年カリフォルニアに移住、教養大學（リベラル・アーツ）たるクレアモント大學にて東洋美術を教ふ。とはいへ、實質は自宅に自身所藏の日本水墨畫十數枚を掛けならべての講義ならびにフリートークなりといふ。田中一松先生の授業もかかる實物による授業ならましかばとは、怠け學生の愚癡なり。

ドロッカー、二十五歳のをりに倫敦にて日本美術に出會ひて恍惚状態となり、以後死にいたるまでの人生に必要缺くべからざる支へになりたりと明言す。西歐美術は鑑賞者に眺めらるるものたることを目指せど、日本美術は鑑賞者と共に生きるためのものにて、藝術は人の精神的環境となりたりとも言ふ。この共に生きるあり方をマネイジメントにも採り入るべきなりとするがドロッカーの主張と言はるゝが、組織に従順、畫一的なるが日本人の特性とさるる一方にて、日本の畫家達は然ならず、まことに個性的、革新的なりといふ。

「優れた禪畫が體驗させてくれるのは、その苦惱のあとであり、絶望に打ち克つ勝利である。その深い精神的な眞實であり、經驗である。」かかる發言は、經濟學者のものとも思はれざれど、同時に、日本人の禪畫を藝術とはみなさず、室町繪畫に關心の少きは、筆者の經驗も含めて、憂ふるべきことゝ思はれたり。

繪畫は文字にては言ひ表しがたき本質を提示し得るとは、既に空海が言なり。

密藏は森玄にして翰墨（文字）に載せ難し、更に圖書を假りて悟らざるに開示す。

日本文化を世界に知らしむるには繪畫が最適と思はるゝは、伊藤若沖にニューヨークにて出會ひしジョー・プライス、那智の瀧圖に神品を感じしアンドレ・マルローなどの試しあればなり。ドラッカーもそがよき試しにて、いづれも日本語を解せざるに日本繪畫に心酔し、日本文化の傳道師たり。

（平成二十七年六月三十日受附）